



「愛され、育ち合う。」をモットーに
これまででも、これからも。

建学の精神を受け継ぎ 次の50年へ。

金城学院幼稚園
園長 児玉 芽



2022年、金城学院幼稚園は設立50周年を迎えました。学院の内外を問わず多くの方々に支えていただきながらこの節目の年にたどり着き、さまざまな形で記念事業を実現できていることに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、この記念の時を迎えるにあたってさまざまな書籍や記録を振り返りました。そして改めて、園に関わってこられた諸先輩の先生方のご苦労や想い、歴代の保護者の方々の支えに触れ、胸が一杯になりました。そして、半世紀前の幼稚園建学の精神に立ちかえり、学院に小さな一校である幼稚園が置かれた、その意味を再確認して、次の50年につなげなければという思いを新たにしました。

幼稚園設立以来、初代園長戸近太郎先生の「子どもは発達が違うから一人ひとりの違いを大事にし、それぞれを生かした保育をしてほしい」という教育理念のもと、西川道子先生（設立時主任、後に第2代園長）をはじめとして、歴代職員がそれぞれの時代状況の中で望ましい保育の姿を模索し続けた様子が金城学院幼稚園「30年のあゆみ」に綴られています。西川先生はそこで、倉橋惣三の著書「育ての心」中の言葉を引用して、目の前の子どもの姿に寄り添う

中で、子どもも保護者も保育者もともに育っていく「共育」を意識して、保育者集団自身が学ばせていただいていることを意識することの大切さについて述べておられます。その理念は、50年の歴史の中で園長や保育者が変わっても、「お子様を、ご両親と共に神様からお預かりしたかけがえない存在として見つめ、その一人ひとりを大切に保育をめざす」という意味で、現在の「愛され、育ち合う。」というスクールモットーに受け継がれています。

一方で揺らぐことのない基本理念のもとであっても、実際の歴史の流れの中では園の規模や社会状況などさまざまなことが変化します。そして、そのたびごとに、その状況のもとで大切にしていることを実現するために新しい形を模索する必要があります。現在のコロナウイルス感染症への対応もそうですが、設立以来大切にしてきた理念を社会や時代に即した形で日々の保育の中に実現し続けることは簡単なことではありません。それでも、本園ではたて割り自由保育の導入など、この50年の間にいくつもの新しい試みに挑戦することができました。そして、その一つひとつは、多くの保護者の方々や、学院内外の方々が、さまざまな形で支えてくださったことにより実現しています。多くの制限がある今日の困難な状況の中でも、本園の父母の会はむしろ活発に活動され、新しい有志の会が立ち上がってもあります。本当に感謝しております。

本園の保育は、まさに「子ども、保護者、保育者と一緒に創り上げていく」ものであるからこそ実現しています。これからも子どもたちの心の内面で育っていく目に見えない成長に心を注ぎ、建学の精神を大切に保育にあたって参りたいと思っています。今後ともよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。



金城学院幼稚園 50年のあゆみ



4月 金城学院幼稚園開園

1972

4歳児10名、5歳児4名に対し、園長1名、教諭2名でのスタートでした。

第2代園長に西川道子が就任。

3・4・5歳児混合クラス編成

1976

3歳児の受け入れが始まり、現行の3・4・5歳児混合クラス編成となりました。

第3代園長に内藤徹（金城学院大学家政学部教授）が兼任。氏の尽力により新園舎建築が実現、園児増員に伴い5クラス体制となりました。



1982

1995

第4代園長に加納真知子が就任。

2000

第5代園長に馬淵宣子が就任。

2009

「預かり保育」を開始

1、2月にトライアルを行い、4月から通常保育後も16時まで幼稚園で過ごすことのできる「預かり保育」を開始しました。

2013

満3歳児保育を開始

満3歳児は5月から入園が可能となり、9月に定員12名が揃いました。

2017

ソニー幼児教育支援プログラム優秀園受賞

「科学する心」を育む環境としての園庭に焦点をあて、園生活や園庭ワークを通して子どもも大人も育ち合う実践論文が評価され、ソニー教育財団主催2018年度ソニー幼児教育支援プログラムの優秀園に選ばれました。

2018



「こすずめの会」がスタート

これまで行ってきたプレ幼稚園や園庭開放を10月から「こすずめの会」と改称したもので、0歳児～2歳児を対象に、毎月定期的に行われています。

2019

「ソニー幼児教育支援プログラム優秀園実践提案研究会」を開催

公開園庭ワークの後、実践発表・グループ協議を行い、最後は玉川大学教育学部教授若月芳浩氏による講演、というプログラムで実施し、全国の幼稚園保育園や大学などから100名以上の参加があり、ともに学びを深めました。

満3歳児保育のニーズに応えるため保育室を増築し、9月より定員を18名に。すぐに定員が満たされました。

2020

第6代園長に児玉芽が就任。

年間を通して新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため全国に非常事態宣言が発令され、休園、分散登園などの措置をとりながらの保育が続けられました。

2021

設立50周年

幼稚園設立50周年を迎えました。

2022



ようちえん50しゅうねんおめでとうございます！





50周年記念事業・取り組みのご報告



2022年9月

園庭整備および新遊具の設置

2022年夏、園庭に築山の高低差を生かした雲梯と、ターザンロープを使ったロープウェイが新たに誕生しました。保育者がアイデアを出し合い、立案した金城オリジナルの遊具で、設計から完成までには多くの学院関係者の方々、業者の方々が携わっていただきました。

2学期の始業礼拝をした9月2日には、新しい遊具の完成お披露目会を実施。この日は在園児とその保護者、学院関係者、そして工事に携わってくださった方々もお迎えして遊具の完成をお祝いしました。これから子どもたちが新遊具をどのように使い、新しい遊びをつくっていくのか、とても楽しみにしています。



楽しいよ~!!



工事は子どもたちがお休みする夏休み中に行われました。猛暑の中で工事を進めてくださった皆さま、本当にお疲れさまでした。



お披露目会では、年長さんから夏期保育中から準備をしてくれた歌「ありがとうの花」やメッセージで、幼稚園50周年おめでとう！の気持ちを伝えました。

2022年10月24日(月)

父母の会記念講演会



父母の会では毎年さまざまな分野の講師の方をお招きして講演会を開催しています。設立50周年を迎える2022年度は、山梨大学名誉教授の加藤繁美先生をお迎えして、「子どもと歩けばおもしろい」をテーマに、子どもの心の育ちと大人の関わり方をお話いただきました。対面での講演会は3年ぶりということもあり、当日は70名もの方々にご参加いただきました。

父母の会では毎年さまざまな分野の講師の方をお招きして講演会を開催しています。設立50周年を迎える2022年度は、山梨大学名誉教授の加藤繁美先生をお迎えして、「子どもと歩けばおもしろい」をテーマに、子どもの心の育ちと大人の関わり方をお話いただきました。対面での講演会は3年ぶりということもあり、当日は70名もの方々にご参加いただきました。

「エントランス de KINJOカフェ(仮称)」開設!



在園保護者や卒園保護者からの「おしゃべりする場がほしい」という要望に応じて開設したカフェ(と言いましても、まずは「場所のみの提供」となります)。エントランス北側のテント下を定期的に開放し、場所とベンチ、机などを提供することで、園にゆかりのある皆さまが自由に集まり、お喋りを楽しめる場となっています。設立50周年をきっかけに、卒園生の保護者の方々も含め、今まで以上に「縦」の関係でつながりませんか?

在園保護者や卒園保護者からの「おしゃべりする場がほしい」という要望に応じて開設したカフェ(と言いましても、まずは「場所のみの提供」となります)。エントランス北側のテント下を定期的に開放し、場所とベンチ、机などを提供することで、園にゆかりのある皆さまが自由に集まり、お喋りを楽しめる場となっています。設立50周年をきっかけに、卒園生の保護者の方々も含め、今まで以上に「縦」の関係でつながりませんか?

新しい遊びのコーナー 『お手伝い父さん母さん 新コーナー』

設立50周年を機に、日常の保育の中でも新しい試みに挑戦したいと考え、新しい遊びのコーナーを開設することになりました。これまで「ハンドベルコーナー」や「トントンコーナー(造形)」など、月1回程度遊びのコーナーを開設してきましたが、そこに身体を動かすコーナーを新たに加え、バランスボールのインストラクターをされているおうちの方とともに「バランスボールコーナー(仮称)」に挑戦します。まずは年長児を対象に行い、徐々に参加者を増やしていけたらと思っています。





2023年

開催予定の行事のご案内

2023年8月26日(土)

50周年記念同窓会・ホームカミングディ

この日は園を1日解放。保育室や園庭を自由に巡って、思い出話に花を咲かせてください。園児、保護者、卒園生、ご近所の方、どなたの参加も大歓迎です。遊戯室では昔懐かしい写真やアルバム、卒園制作などの展示も行います。

2023年8月26日(土) 午後

50周年記念礼拝・記念コンサート

金城学院大学のアニー・ランドルフ記念講堂で、設立50周年の記念礼拝と記念コンサートを行います。保護者の方々の素晴らしい演奏やパフォーマンスをお楽しみください。

2023年9月(予定)

50周年記念バザー(父母の会主催)

お父さんやお母さんがゲームコーナーやこどもマーケットを開いてくださり、みんなで楽しい一日を過ごします。この日は子どもたちも、お花屋さんや自分たちが作った作品をおまけにするなど、自分たちのできることで協力します。



設立50周年を迎えて ～職員の声～

園全体が温かさと満ちあふれている。

公立の保育園で保育に携わって10年。その後、ご縁をいただいて本園に入職しました。ここに来てまず感じたことは「あったかいな」ということ。子どもたちはもちろん、保護者の方や保育者も互いに支えあい、つながっています。卒園生やその保護者の方も折にふれて遊びに来て園での生活を懐かしんでくださったり、園庭ワークや行事などで力を貸して下さるなど、卒園してからも園とずっと繋がっていることが素晴らしいと思いますし、なかなかないと思います。今年で設立50年。保育者としてこの節目の年を迎えられるのはとても嬉しいことです。同時に先輩たちが築き上げてきた歴史の重みも感じています。子ども一人ひとりの気持ちを何よりも大切にする保育、遊びの中から子どもたちの生きる力を育む保育、保護者や卒園生との温かいつながりなど、本園の良さ、強みを存分に生かし、さらに良い保育につなげていくことができるように、職員みんなで努めていきたいと思っています。



白井安希
(主任)
2007年入職

保護者と連携して子どもの育ちを支える。

私自身この園の卒園生で、卒園後もたびたび遊びに来ているうちに、本園の保育者になることが私の夢になりました。あいにく大学卒業時には募集がなく、公立の保育園に入職。子育てで一度仕事を離れましたが、園から声をかけていただき、念願が叶いました。本園の特色は、保育者もおうちの方も、一緒になって子どもを見て、育てていること。文字通り「愛され、育ち合う。」保育を実践しています。今のコロナ禍もそうですが、時代や社会の変化の中で行事の変更・中止を余儀なくされることがあります。「じゃあ、他に何ができるだろう」と、スタッフみんなで時間をかけて話し合い、できることを精一杯やる。そこには喜びや感動がたくさんあり、それが50年間変わらない園の姿なのだろうと感じます。また、どんな状況にあっても子どもたちのことを思い、支えてくださったおうちの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。



水野梨奈
2018年入職

幼稚園ホームページにて50周年記念ページ公開中!



金城学院幼稚園のホームページで「50周年記念ページ」を公開しています。ページを開くと、懐かしい写真や記念行事の様様、お知らせなど、楽しい情報が満載。新たな情報などもこのウェブサイトですぐご覧いただけますので、皆さまぜひご覧ください。



50周年記念誌 ただいま制作中!

50周年記念事業の一環として、現在50年の歩みをまとめた記念誌を制作しています。歴代園長による対談、園の様子や取り組みなど、50年の歴史がこの一冊に記されています。



<https://www.kdgt.kinjo-gakuin.jp/50th/index.html>